

19 ('01 名古屋市立大)

【難易度】… | 難 |

n を自然数とするととき、次の問いに答えよ。

- (1) 不等式 $n! \geq 2^{n-1}$ を示せ。
- (2) 不等式 $\frac{1}{1!} + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \dots + \frac{1}{n!} < 2$ を示せ。
- (3) 不等式 $\frac{(n+1)^n}{n^n} < 3$ を示せ。

【テーマ】: 数学的帰納法と不等式の証明

方針

(1) は数学的帰納法で証明します。(2) は(1) で示した不等式を用いて証明します。(3) は二項定理を用いて左辺を展開しましょう。

解答

(1) 【証明】

(i) $n = 1$ のとき、

$$(\text{左辺}) = 1! = 1, (\text{右辺}) = 2^{1-1} = 1$$

よって、 $n = 1$ のとき、成り立つ。

(ii) $n = k$ すなわち

$$k! \geq 2^{k-1} \quad \dots\dots\textcircled{1}$$

が成り立つと仮定すると、 $\textcircled{1}$ の両辺に $k+1 > 0$ をかけて、

$$(k+1)! \geq (k+1)2^{k-1} \geq 2 \cdot 2^{k-1} \quad (\because k \geq 1)$$

よって、 $(k+1)! \geq 2^k$ となり、 $n = k+1$ のときも成り立つ。

ゆえに、(i)、(ii) より、すべての自然数 n に対して、 $n! \geq 2^{n-1}$ が成り立つことが示された。 【証明終】

(2) 【証明】

(1) より、 $n! \geq 2^{n-1}$ であるから、

$$\frac{1}{n!} \leq \frac{1}{2^{n-1}}$$

が成り立つ。この式に $n = 1, 2, 3, \dots$ を代入すると、

$$\begin{aligned} \frac{1}{1!} &\leq \frac{1}{1} \\ \frac{1}{2!} &\leq \frac{1}{2} \\ \frac{1}{3!} &\leq \frac{1}{2^2} \\ &\vdots \\ \frac{1}{n!} &\leq \frac{1}{2^{n-1}} \end{aligned}$$

となるので、辺々加えると、

$$\frac{1}{1!} + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \cdots + \frac{1}{n!} \leq \frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2^2} + \cdots + \frac{1}{2^{n-1}}$$

である。この式の右辺は、初項 1，公比 $\frac{1}{2}$ の等比数列の和であるから、

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{2} + \frac{1}{2^2} + \cdots + \frac{1}{2^{n-1}} = \frac{1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n}{1 - \frac{1}{2}} = 2 \left\{ 1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n \right\} < 2 \quad \left(\because 1 - \left(\frac{1}{2}\right)^n < 1 \right)$$

ゆえに、示された。

【証明終】

(3) 【証明】

$$\begin{aligned} \text{(左辺)} &= \left(\frac{n+1}{n} \right)^n \\ &= \left(1 + \frac{1}{n} \right)^n \\ &= \sum_{k=0}^n nC_k \left(\frac{1}{n} \right)^k \\ &= 1 + \sum_{k=1}^n \frac{nC_k}{n^k} \end{aligned}$$

ここで、

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n \frac{nC_k}{n^k} &= \frac{n(n-1)(n-2)\cdots(n-k+1)}{k!} \cdot \frac{1}{n^k} \\ &= \frac{n(n-1)(n-2)\cdots(n-k+1)}{n^k} \cdot \frac{1}{k!} \\ &= 1 \cdot \left(1 - \frac{1}{n}\right) \left(1 - \frac{2}{n}\right) \cdots \left(1 - \frac{k-1}{n}\right) \cdot \frac{1}{k!} \\ &\leq \frac{1}{k!} \end{aligned}$$

よって、

$$\begin{aligned} \text{(左辺)} &\leq 1 + \sum_{k=1}^n \frac{1}{k!} \\ &< 1 + 2 \quad (\because (2)) \\ &= 3 = \text{(右辺)} \end{aligned}$$

となり、示された。

【証明終】

◇ ◆ ◇

【解説】

(3) を証明するために、(1), (2) で準備をしています。証明の流れをしっかりとつかみましよう。(3) は式変形に経験がないと難問です。難関大学を受験する人は、一度は経験しておきたい問題です。

(1) は、自然数 n に関する不等式の証明なので、数学的帰納法が有効でしょう。この問いは完答しなければいけません。

(2) は、右辺が n の式ではないため数学的帰納法で証明することができません。したがって、【解答】では、(1) を利用して解答しています。

(3) は、左辺を二項定理で書き下すという発想が必要になります。